

南区の地産地消

ー地元でとれた農産物をたべよう！ー

広報さっぽろ6月号で、札幌市の地産地消について紹介しましたが、今月号では南区内の農産物を紹介します。南区産の農産物を区内で買って区内で食べる！あなたも南区版「地産地消」を実践してみませんか。

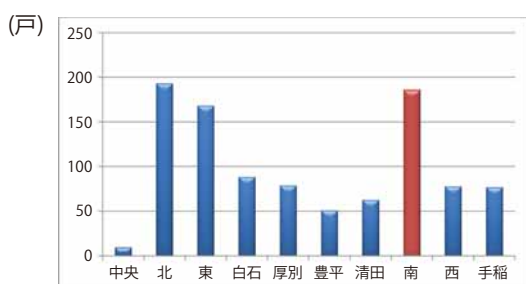


札幌市の農業に関するお問い合わせは、
経済局農政課 ☎211-2406

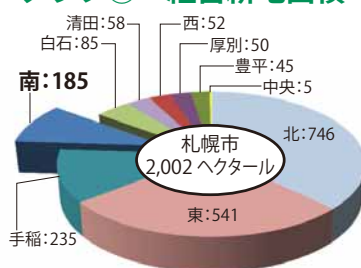
南区農業の特徴

南区は、山あいの土地でさまざまな種類の農産物が栽培されています。簾舞・豊滝・小金湯では水稻、滝野では芋、北ノ沢ではとうもろこしなどが栽培され、白川や藤野などを中心に、小松菜などの野菜も栽培されています。そして何といても、南区は札幌の果樹園の中心地です。

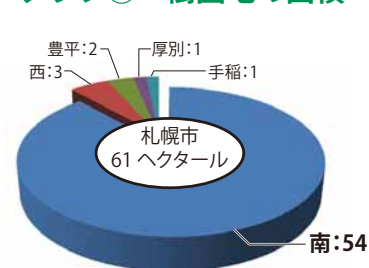
グラフ① 農家戸数



グラフ② 経営耕地面積



グラフ③ 樹園地の面積



札幌市全体の戸数は、993戸。
そのうちの186戸を南区が占めており、
北区に次いで市内2位。

南区の経営耕地面積は185ヘクタール。このうち樹園地（果樹園、花木類など）は54ヘクタールで、これは市内10区の中でトップ。

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス」

もりの仲間のかまおか朝市

場所 札幌市保養センター駒岡
(真駒内600番地20)
日時 第2・4日曜日
(～11月)
時間 9時～10時
問い合わせ
札幌市保養センター駒岡
☎583-8553

いしやま朝市

場所 石山振興会館
(石山1条3丁目)
日時 第1・3土曜日
(通年)
時間 9時～10時
問い合わせ
石山まちづくりセンター
☎591-8734



石山地区では、近年の人口減少に伴い、古くから地域の生活を支えてきた地元の店が、一つ、また一つと姿を消していきました。そこで9年前、地域の活性化策の一環として、地域住民との顔合わせの場となる朝市が誕生しました。石山から広がり、現在では区内で4つの朝市が開かれています。

南区の朝市